

稜友

January 2026, No.372



奥日光 五光山北ルンゼ

新潟稜友会

Website <https://niigata-ryoyu.com>

Homepage <http://niigataryoyu.wixsite.com/niigata-ryoyu>

卷頭言

2026年 新年明けましておめでとうございます

1月1日より代表となりました野口です。

巻頭言の場を借りて、一言ご挨拶させてください。

稜友会の雰囲気、私はとても好きです。わちゃわちゃしていながらもギスギスがなく、さっぱりあっさり。（オノマトペで意味が伝わる日本語も好きです。）

山岳事故の事例として「リーダーに何も言えない関係性が事故を悪化させた」という話があります。例会でも「（山行に限らず）それはおかしくないですか？」と言い合える雰囲気づくりがとても重要だと話がありましたが、稜友会はまさにそうした空気を持った会だと感じています。

自由闊達に意見を言い合いながらも、その言葉の奥には「安全が最優先」、そして「楽しくなくては！」という優先順位があります。この軸があるからこそ、今の良い雰囲気が保たれているのだと思います。

代表として特別に何かを変えるつもりはありません。この雰囲気を大切にし、

「それはより安全か？」

「そして楽しいか？」

をベースに、引き続き皆さまのご協力をお願いしたいと思います。

ただ一方で、会を継続させていくという課題もあります。

ある程度の人数がいなければ、会活動は次第に衰えてしまいます。

新しい人、若い人の加入はやはり必要です。

昨年夏、谷川岳の登山口でヒッチハイクをした際、「どこまで？」と声をかけてくれたのは、ほとんどが関東方面の若者でした。バイタリティのある人は若く、そしてそうした若者は関東圏に出て行ってしまい、新潟県内には少ないのでなかろうか？魚影の薄いところで釣りをしても釣果は見込めないのでなかろうか！？

十数年前にトヨタが「免許をとろうぜ！」とCMを流していたように、「まず登山してみようぜ！」という入り口づくりから考える必要があるかもしれません。

皆さま、一緒に考えていきましょう。

会員の山行状況(2025年12月) 新潟稜友会マーリングリストより

2025/12/07	日光 五色山北ルンゼ(アイスクライミング)	海老名、野口
2025/12/19-20	銀太郎山(尾根登り)	野口、八木
2025/12/20	巻機山(山スキー)	須藤 他2名
2025/12/20	二王子岳((尾根登り)	曾我
2025/12/27-28	吾妻 家形山(山スキー)	木嶋、野口、曾我
2025/12/28	八甲田 高田大岳(山スキー)	須藤 他1名

2026年例会・巻頭言・例会日一覧

月	例会テーマ/担当	巻頭言	例会日
1月	雪崩/曾我	野口	1/21(水)
2月	気象/野口	須藤	2/18(水)
3月	事例研究/中村	関川	3/18(水)
4月	ロープワーク/海老名	曾我	4/15(水)
5月	山の食事/海老名	中村	5/20(水)
6月	体験山行準備/野口	橋本	6/17(水)
7月	沢の装備/須藤	肥后	7/15(水)
8月	暑気払い	阿部	8/19(水)
9月	キノコ/八木	池上	9/16(水)
10月	ファーストエイド/関川	海老名	10/21(水)
11月	総会に向けて/代表	小川	11/18(水)
12月	総会	木嶋	12/13(日)

例会担当者は市民会館の駐車場を利用できます。

会山行・体験山行予定

期日	テーマ	山域	担当
2月8日	雪上訓練（ビーコン）	未定	未定
3月14日	山スキー	未定	曾我
4月	春山	矢筈岳	野口
5月10日	岩トレ（ロープワーク）	杉滝岩	海老名
7月5日	体験山行（沢）	琴沢 or 大久藏沢	野口
9月12, 13日	沢登り	室谷川	野口

10月25日	スラブハイク	御前ヶ遊窟	中村
--------	--------	-------	----

山行報告

日程	山域(形態)	メンバー
2025/12/07	日光 五色山北ルンゼ(アイスクライミング)	海老名、野口
2025/12/19-20	銀太郎山(尾根登り)	野口、八木
2025/12/20	巻機山(山スキー)	須藤 他2名
2025/12/20	二王子岳((尾根登り)	曾我
2025/12/27-28	吾妻 家形山(山スキー)	木嶋、野口、曾我

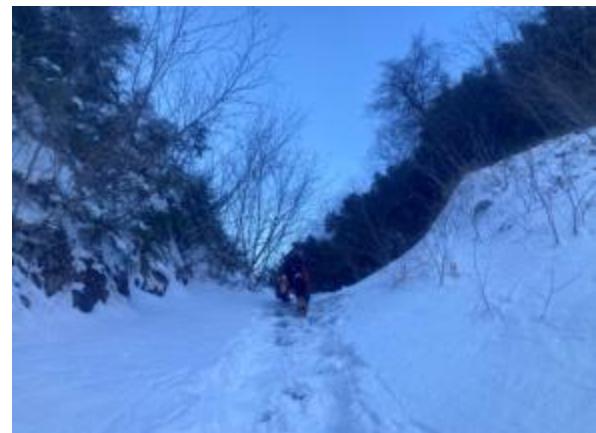
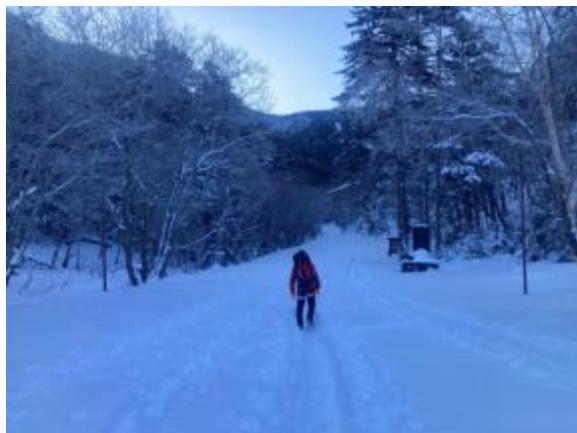
奥日光 五色山北ルンゼ (冬季バリエーション)

2025年12月7日 晴れ

△ 海老名、野口

昨年と同じくアイスクライミング初めは奥日光 五色山北ルンゼ。昨年よりも 10 日程早いのであるが今年は雪は多め。前泊も同じく沼田健康ランド。ありがたい施設である。

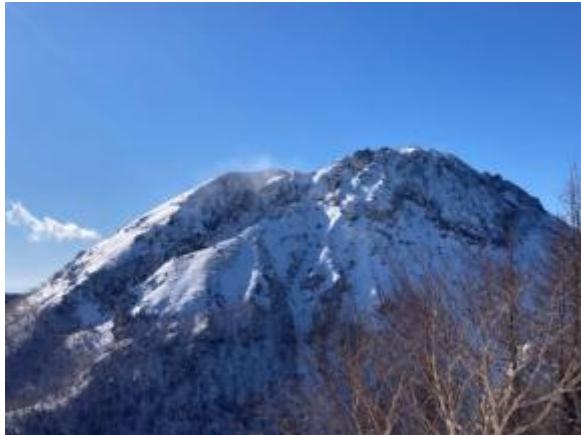
出発はゆっくりめの 8 時。先行者が 10 名程いるとのこと。すっかりメジャールートである。一般的には五色山北ルンゼはアイスクライミングのルートとして紹介されていることが多いが、私は氷も含む冬のバリエーションルートと捉えている。核心部がアイスではなくドライツーリングの岩登りになるので印象に残るのが岩登りのセクションであり、氷の部分は全て暖傾斜で易しい登攀になるからそう考えております。



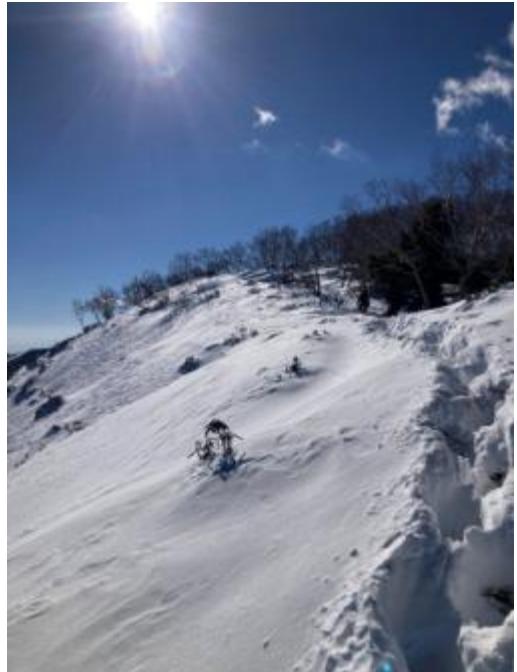
3 級程度の氷が続く。ノーロープでも心配いらない。2 俣を過ぎると核心のドライのセクションとなる。昨年と比べると氷と雪の付着が少なく、難しく見える。昨年はワンエイドで通過したので今年

はフリーでトライ。しかし少し上がったところであっさりフォール。出だしが難しいのであるがもう一度トライするも上手く上がれない。トップ交代でやってみるが、これまたフォール。今回は高巻きとなつた。稜線にでると少し風があつたが日光白根山の展望が素晴らしい。

下山は夏道沿いに下る。トレースがしっかりとあり楽に下れた。下山後は温泉に入ってお勧めのトマトラーメンを食した。宿題を残した山行となつたが冬山初めの楽しい山行であった。(海老名)



日光白根山



川内山塊 銀太郎山（冬季バリエーション）

2025年12月19～20日 晴れ

ル野口、八木

夜中に届いた計画書は晴れ間をロックオンされた計画的山行。翌朝職場に出社してみるとまさかの3連休♪完全に失念していましたw。こんな天気は逃すまいと便乗を懇願し、いざ。

一日目

7:00 スタート。放射冷却の影響からか気温は低く林道には霜が降り、倒木やら枝が行く手を拒むが幸い通過できないことはない。用足しを済ませ車へ戻ると共同装備のテントポールが歩荷ヨロシクと言わんばかりに置いてありました…がしかし重量チェックからあえなくお返しいましたw。悪場所より水無平を経由し木六山へ、少量の残雪から登山道はすぐにロストしてしまった。何年か前に周回で通ったことがありました地図と登山道はズレが生じています。9:40 木六山登頂。

快晴の天気から締まりのない雪はツボ脚が難儀で歩が進まない。稜線からは積雪もありワカンを装着。新代表はワカンなし！装備品に記載がないものは携行しないという迷いのない判断が潔し。私は心配性なところからあれよあれよと重量が嵩みます。足取りが快適となつたがものの数分でビンディングが破損！気を取り直し補修するも10歩で破損し片足装備もまたも数分で破損し笑うしかなくツボ脚ブラザーズ結成＼(^o^)／。ラケットタイプのワカンの耐久性は如何に、王道の

ベルトタイプがベストなのだろうか。次の目的地は七郎平山。直下のルーフアイミス藪へ突入し体力消耗。左巻が正解である。12:15 七郎平山、本日の宿場を設営。

思った以上の疲労感から「本日の行動終了します」新代表まさかの終了宣言w。天気は快晴、飯豊、他周りの景色は稀にしか見る事のできない好条件。出だしは五剣谷まで行きたいと言っていたのはもう昔の話ようだ…。そんな好条件が銀次郎、銀太郎、五剣谷、青里の眺望の良さが仇となる。

あんな距離歩くの?矢筈どこ?

果てしない距離感に絶望のココロが芽生え次第に心が折れていく…。しかしながらここで行動終了した時の時間潰しは?大宴会の酒もそんなにはない!明日の銀太郎を目標に明朝ヘッデン山行の為トレースを時間いっぱいまで行った。明朝の暗闇にかなり功を奏した。さすがは新代表である。15:00 宿場帰還。宴スタート。夕飯担当を仰せつかりましたが準備もままならない状況。じゃがりこでポテトサラダ、山行域の名物料理を山飯で喰らうをテーマに今回は新発田麩をメインのネギ焼き鍋を調理。モチロン食べたことも作ったこともないw素なので味のブレはなく美味しく頂けたようで良かった♪

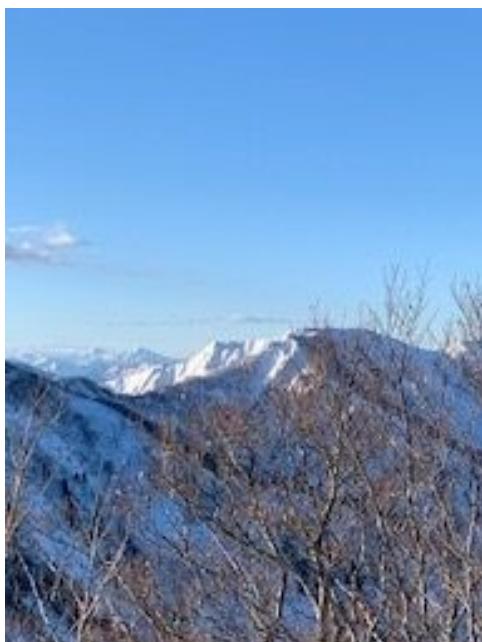


二日目

雪上のテントは何年前かの中房温泉以来で気温はあまり寒くはなかったが寝袋の選定ミス。思いのほか寒く何度も目が覚めたが夜の静けさと満天の空は心地がいい。5:00 スタート。朝食をのんびり沢山食べ出遅れた(;'∀')。前日のトレースのおかげで暗闇に迷うことなく銀次郎へ、途中にテント場に使えそうな箇所あり記憶する。朝日で真っ赤に焼け映された御神楽が素晴らしい山容を見せた。



5:50 銀次郎登頂。銀次郎より見据える銀太郎は遠くメンタルがやられる 7:30 銀太郎登頂。常に新代表の背中を追い体力を温存w先攻頂きありがとうございました~。五剣谷までの藪はまだ小雪ながら大変そうには見えなかつたが、矢筈への道はここからが鬼門であることは間違いない。銀太郎の山頂からは矢筈はロックオンできません(・_・。青里は絶望的に遠く2泊3日ピストン山行、私の脚では仕留められそうもない。山行計画の見直し、情報収集を重ね春の会山行へ挑みたい。



13:45 無事下山。山行途中の一コマ、金太郎山はあるとかないとか、この近くだよねーって…。
(。'・ω・)ん?そんな山 naiyo チャンチャン♪(八木)

巻機山（山スキー）

2025年12月20日

須藤、他2名

年末年始のトレーニングで巻機山。

心配された雪不足も何とか全行程スキーで登れた。春の陽気は良いのだけれど雪も春の×雪。
ストップスノーから生コン+藪。まっ、トレーニングにはなったかな。山スキーヤーは我々の他1名
のみ、歩きの登山者はめちゃ大勢、さすが百名山。(須藤)

清水(7:00)～山頂(11:30)～下山完了(14:50)



山頂から谷川連峰方面

二王子岳

2025年12月20日

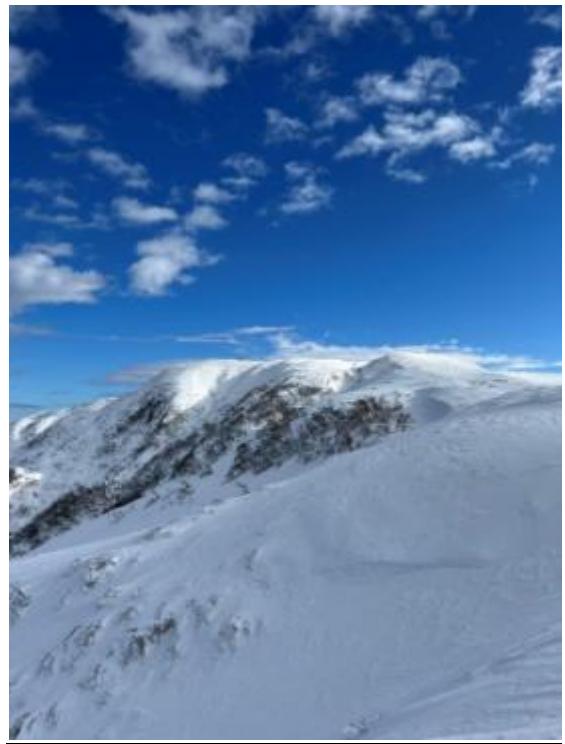
曾我

07:50頃入山、12:30に無事に下山しました。まさかとは思いましたが神社まで車で乗り入れできました。のべ20人くらい入ってたかな。大半追い抜きました。

雪がしっかり出てきたのは三合目の小屋あたりから。山頂直下まで藪藪でした。山頂の標識はエビの尻尾が形成されていませんでした。血迷ってスキーで行かなくて良かったです。(曾我)



積雪は独標で 70cm ほど



山頂方面を望む



下山後の駐車場は車が一台も減ってませんでした。勝った！！(何に？)

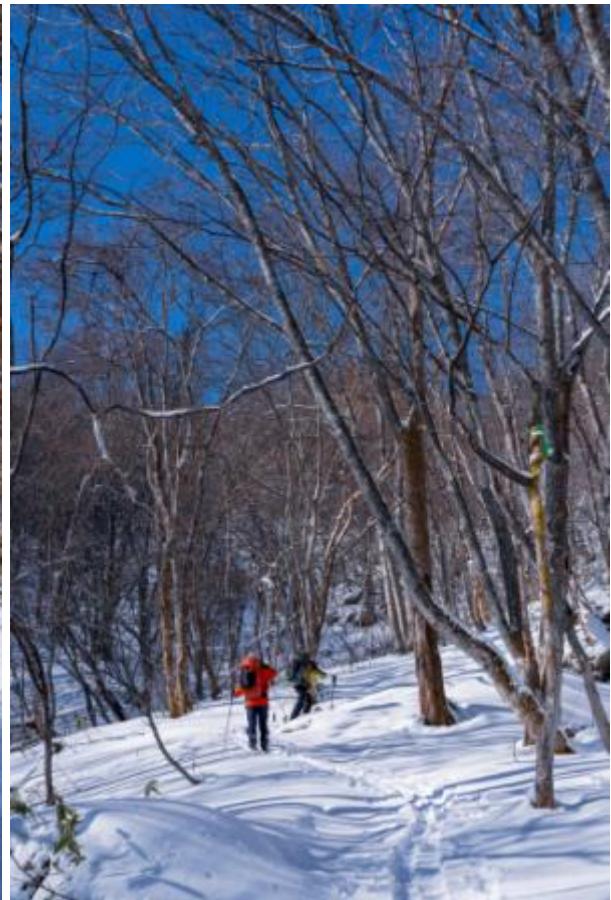
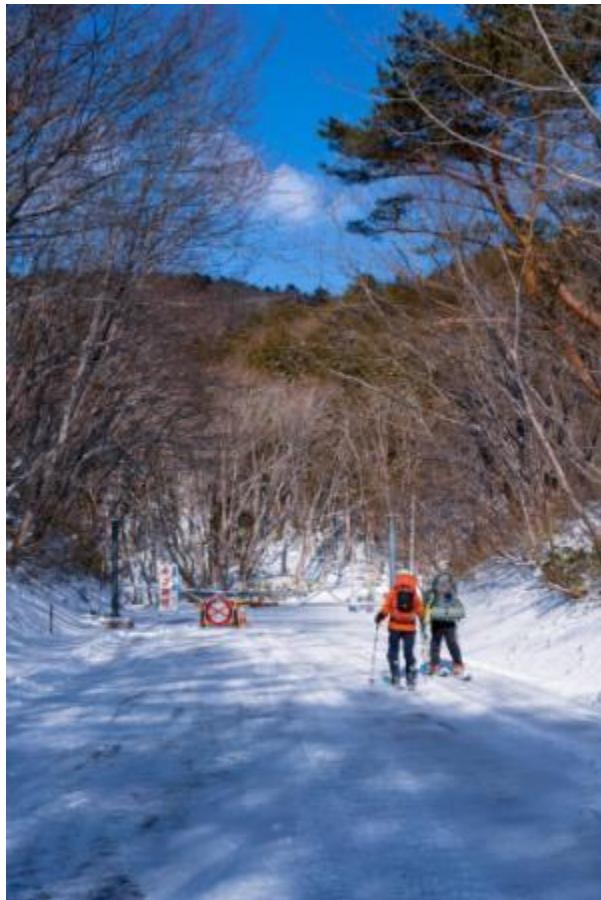
家形山（山スキー）

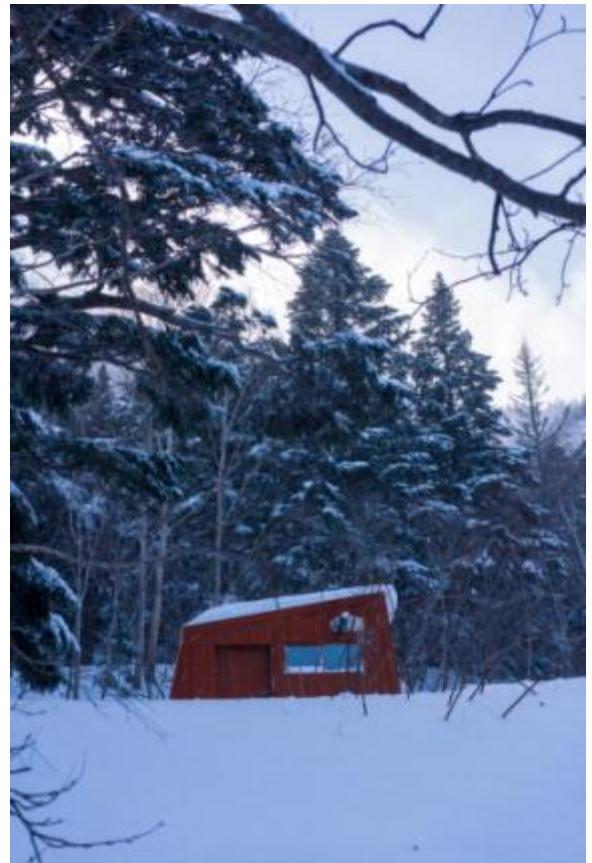
2025年12月27～28日

木嶋、野口、曾我

4:00に曾G自宅に集合。道中通過する小国町～飯豊町の降雪量に期待するも、福島に抜けると一気に積雪量が少なくなる。気温は氷点下、高湯温泉の除雪終了点から先はまだ薄いがスキーで歩ける程度の積雪を確認できたので、予定通り山スキーで09:00より行動開始。雪は少ないが快晴で気持ちがよい。踏み跡もなく先行者は無い。今シーズンはじめてのスキーストrollなので様子を見ながら進む。

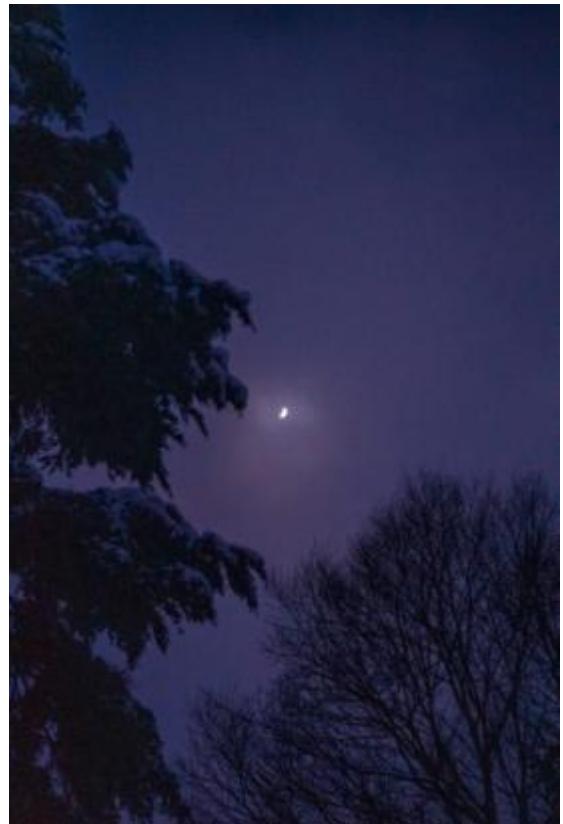
ルート的には一直線で、斜度もほぼ一定しているので難しいところは無い。が、積雪不足で藪に大苦戦。登山道沿いに進んでいるつもりが、あまり明瞭でないため藪を避けるとすぐに登山道を見失ってしまう。おまけに道を示すテープのカラーがなぜかグリーンで見失いがち。たびたびルートを外しながらも復帰するを繰り返して進む。12:00頃、賽河原を通過。このあたりから上空が雲で覆われ始め、風も強くなってくる。13:30頃、井戸溝の渡渉地点。崩壊気味の橋だったがスキー板でうまく通過できた。14:50頃、本日のお宿である家形山避難小屋に到着。先客はなしで貸切になりそう。





小屋内部ではお目当ての薪ストーブを使わせていただき、宴会スタート！食当野 G の鍋料理が疲れた体に沁みた。だらだらと過ごすと時間が長く感じるが、20:00 には疲れて就寝。薪ストーブの火種が消えると小屋内が一気に冷え、ストーブのありがたさを感じた。

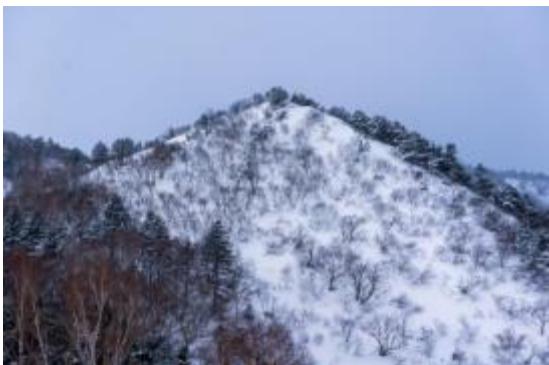




翌日は 04:00 起床。食事と準備を整え、一晩お世話になった小屋を清掃して出発。家形山を目指すルートは藪が濃すぎるので小屋からダイレクトに目指すことはせず、分岐まで戻って夏道を辿ることにする。

分岐から家形山を目指すが、曾 G の右足のクライミングスキンがベロンと剥がれてしまう。温度低下で粘着力が低下している…9シーズン目で、そろそろ寿命なのだろう。ダクトテープで補強するが、あまり長持ちはしなさそうだ。さらに雲行きは悪化、稜線に出るとなかなかの強風になる。進行方向も藪だらけで、これ以上スキーで進むのは無理があると判断して 1700m 地点、09:00 頃撤退を決定。曾 G と木 J は滑走モードに切り替えるが、藪が濃すぎてまともに滑れない。ここからが修行の始まりだった。

ある程度わかってはいたことだが、進んでも滑走に向いた斜面はほとんど連続しない。シールをつけたり外したりしながら進むが、曾 G のシールは限界に近く、両端のクリップのテンションだけで固定している状態で、外れないよう進むのに苦労する。1370mあたりから進路を旧スキー場跡地に取るが、クローズしてから 20 年間の月日が藪を復活させ、これまで歩いてきた斜面と状況が変わらない。それでも 1200m を切ったあたりの斜面は藪が少量出ている程度だったのでなんとかツリーランを楽しんだ。その後も藪と戦い続け、14:00 頃になんとか車道に復帰。そこからは車道をオートで下山…というわけにはいかず、ちょいちょい漕ぎながら 15:00 に除雪終了点まで戻る。



シーズンインでこなすにはあまりにも苦行が続く山行となつた。やはり積雪はあと1mはないと厳しいなと改めて感じた次第。しかし薪ストーブ付きの小屋はあまりにも快適で、年を締めくくる宴会山行としては最高であった。野Gさん食当ありがとうございました！そして計画してくれた木Jさん、現場で不機嫌丸出して大変申し訳ありませんでした♂。

薪は春になつたらメンバーの誰かが追加しに行きます。大変お世話になりました。(曾我)

●会費について

☆会員 年会費 4,000円(夫婦会員は2人で 6,000円)
山岳保険料 4,490円～月割可(詳細は池上か中村まで)

●万代市民会館集会室利用方法

最初に来館した人は、4階ロッカー室の稜友会の棚から、当日の日付が書いてある利用許可書1枚を持って1階受付に提出し、必要事項に記入の上、部屋のカギを受け取って会場に入って下さい。

●必ず守ってください

山行計画書、下山報告共にメーリングリストにて
緊急連絡先は原則として中村・須藤・橋本(寅)に
メール・携帯電話等で連絡の事

次回原稿締め切り 1月31日(水)中村まで

●原稿形式

基本Wordで行先(形態)、日付、メンバー、本文、作成者に写真を添えて作成をお願いします。

例

鳥海山湯ノ台口(山スキー)

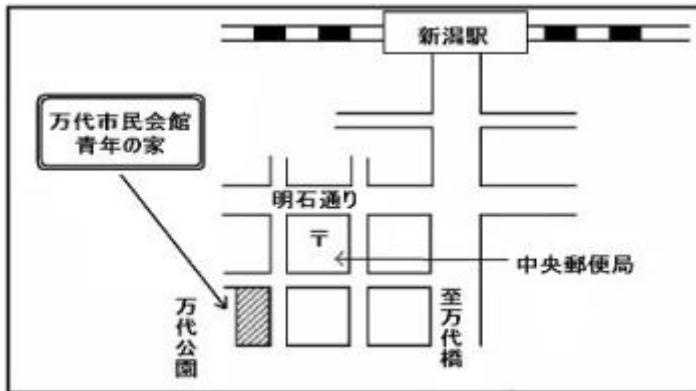
2000年6月3日(土)～4日(日)

メンバー L. 橋本、本文

(橋本寅信)…作成者。本文末にカッコでフルネーム

新入会員募集中！

毎月第3水曜日 PM7:30～万代市民会館4階の「青年の家」にて集会を開催しています。気楽に顔を出して下さい。詳しくは、TEL 090-6522-3684 野口まで



[編集後記]

月報1月号をお届けします。Webページに掲載された記録は写真を(大きさ、サイズともに)小さくして掲載しました。その結果月報のファイルサイズをかなり小さくできたと思います。山行記録だけでなく、コラム、エッセーも募集しますのでぜひ投稿してください。(Na)

.....

月報「稜友」January 2026 No.372 2026年1月15日発行

発行者 新潟稜友会 代表 野口康太郎

〒940-2502 長岡市寺泊港町 7276 Tel 090-6522-3684

.....